

神奈川県議会議員

永田 まりな

MARINA NAGATA



令和6年第3回定例会開会中です



12月19日まで続く長丁場となる神奈川県議会第3回定例会が開会中です。前半戦は、提案された補正予算の総額は一般会計で1億6,400余万円、特別会計で2億円、合わせて3億6,400余万円が全て可決されました。議題の中には「AIを活用した災害対応支援として、大規模災害時における職員の意思決定や作業を支援するため、発災時に収集される膨大な情報を整理・分析するAI機能をデータ統合連携基盤に追加する。」と説明のあった事業も入っています。AIを始めとするデジタルの進化のスピードは目を見張るものがあり、今後の行政運営はいかに、こうした技術を取り入れることだけを目的とせず、取り入れた先にいかにツールとして利活用していくかが鍵になると考えます。今回提案された事業が、その一端となるものか注視していきます。また、11月中は決算特別委員会も開催されています。予算委員会同様、昨年度実施された事業の効果など、今後の事業構築のため非常に重要な議論が連日交わされます。私も委員として質疑に加わっており、詳細は次号改めてご報告させていただきます。

インターン生からの県政報告

7~9月まで永田事務所にてインターンとして活動していたインターン生が自ら、神奈川県課題を調べ、以下2項目について記事をまとめました。稚拙な部分もあるかと思いますが、大学生ならではの視点とご容赦いただきぜひ一読ください。

“ どうする？神奈川の脱炭素戦略 ”

神奈川県では2050年脱炭素社会の実現を目指しており、人類共通の課題である地球温暖化を防止すること、また、地球温暖化の影響がすでに現れていることに鑑み、化石燃料に依存したエネルギー多消費型の社会から地球環境への負荷が少ない低炭素社会への転換を促し、良好な環境を将来の世代に引き継いでいくことを目的として神奈川県地球温暖化対策推進条例を定めています。その取り組みとして、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの推進、電気自動車(EV)や燃料電池車(FCV)の普及などが挙げられます。再生可能エネルギーの推進では、事業所が初期費用を負担することにより初期費用0円で太陽光発電を設置できる「0円ソーラー」という仕組みがあります。設置したソーラーパネルは契約期間後に住宅所有者に無償譲渡されます。また、地球温暖化対策に貢献できるだけでなく、非常用電源として使用することも可能です。電気自動車の普及に向けての取り組みでは、車両への支援としてEVバス、EVタクシーなどの事業者等

のEVへの補助金やEV・FCVをお持ちの方が神奈川県EV・FCV認定カードを提示することで一部の県立施設等の有料駐車場で50%程度の割引が受けられます。また、EV急速充電設備の整備に対しての補助が行われることなど充電インフラ拡大への支援も行われています。私が実際にEV車を運転した際に航続距離の少なさを実感しました。約200kmの長距離運転の際には片道で三度の充電が必要となるなど、ガソリン車では三時間半の道のりを充電時間も含め五時間かけることとなりました。また、EV車では圧倒的シェアをほこるテスラの株価急落、ゼネラルモーターズ、フォルクスワーゲン、メルセデスベンツといった自動車メーカーがEV戦略を縮小する計画を示すなど、EV車の弱点が露呈してきたことから、完全EVシフトの流れは減速してきていると感じます。EV市場が減少傾向にある今、脱炭素社会実現との両立をどのようにしていくのか注目していきたいです。

オーバーツーリズム対策は粘り強く

近年コロナが収まってきたこともあり、国内外問わず多くの観光客が鎌倉や箱根など神奈川県内の観光地に訪れ、各地が賑わっています。その一方で、一部の地域・時間帯において、混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念が課題となっている状況です。鎌倉市では鎌倉駅周辺や江ノ電長谷駅周辺、江ノ電鎌倉高校前踏切周辺などが大変混雑し、さらにごみのポイ捨ても問題になっています。その対策として、観光客分散のために公式ホームページ「鎌倉観光公式ガイド」の改修、混雑可視化システム「鎌倉観光混雑マップ」の改修、渋滞緩和を目的とした広告展開、混雑駅における誘導員の配置が行われています。また、マナー啓発としては該当防犯カメラの設置、受け入れ環境の整備増強のため多言語ボランティアガイドによる滞留解消、初詣交通規制に伴う交通誘導員の配置が行われています。これまでも県ではオーバーツーリズム未然防止・抑制のために需要の分散と平準化を目的として周遊観光事業の推進、スマートフォン位置情報データを活用して観光客の分散化を促すこと、また、スマートフォンの活用は位置情報データだけでなく多言語によるマナー啓発も発信して

います。さらに、国や市町村との連携も行い、意見交換のための会議、人流分析レポート等の提供をすることで、情報交換、啓発活動、その他の必要な支援を広域的な見地から行っています。

観光客の受け入れはその地域にとって多くの収入になる一方、文化の違いや価値観の違いなどからこのように多くの問題が発生することがあります。海外ではポイ捨てされたゴミを拾う仕事をされている方もいますが、日本ではそのようなことは多くの場合がボランティアで行われています。そのため海外の人がポイ捨てを拾ってくれる人がいると勘違いしてしまっているのではないのでしょうか。今後は世界各地の観光地でオーバーツーリズムの問題が発生しているため、オーバーツーリズムの問題を自覚した外国人観光客の方がその土地のマナーを理解するようになっていくと思います。ですので、私は世界中の多くの方に日本を訪れ、日本の素晴らしさを知ってもらうためにもオーバーツーリズムの対策として観光客を制限するという手は打たずに改善して欲しいです。

学生インターン募集中！ 高校生から受け入れています

永田まりなはこれまで大学生インターンの受け入れを行い、ともに活動をしてきました。インターンに来られる学生さんたちの応募理由は、政治に興味がある、将来の夢がある、逆に将来の夢がない、社会経験として、なんとなくおもしろそうだから... など様々です。以前は大学生の夏休み・春休み期間に限っての受け入れでしたが、現在は高校生から、期間についても柔軟に相談に応じます。

募集要項

対象：高校生、大学生（市内外不問）

期間：1か月～長期（応相談）

活動内容：駅頭活動、県政報告会出席、議会傍聴、勉強会出席、イベント参加など。その他希望を伺って一緒に活動内容を決めていきます。

問合せ応募：永田まりな事務所までメール
jimukyoku@nagata-marina.com



永田まりなプロフィール



1983年2月19日生まれ41歳 七里ガ浜在住
聖路加幼稚園～鎌倉市立七里ガ浜小学校～私立北鎌倉女学園中学校
神奈川県立鎌倉高校～フェリス女学院大学卒業

2013年 鎌倉市議選初当選、2017年 鎌倉市議選2期目当選
2019年 神奈川県議会議員初当選、2023年 神奈川県議選2期目当選
環境農政常任委員会、社会・健康対策特別委員会所属
自民党神奈川県副幹事長 公式LINEで県政情報など随時発信中！

「永田まりな」公式LINE
友だち登録はこちら



永田まりな事務所